

〈長岡の子どもの期待像〉

愛・夢・パワー 輝け！長岡の子
○米百俵の精神に学び、
新しい長岡を創造する子
○信濃川のように、大きく、心豊かに生きる子
○夢を持ち、広い世界へ、チャレンジする子

〈与板15歳の子ども像〉

- 1 自分からあいさつできる子
- 2 人の話を聴ける子
- 3 自分の気持ちや考えを伝えられる子
- 4 だれとでも協力できる子
- 5 目標に向かって一生懸命取り組む子
- 6 ふるさと与板のよさを言える子

〈与中 教育目標〉

★真理を求め、全力をつくす生徒 ★創造力に富み、情操豊かな生徒★勤労を重んじ、健康で実践力のある生徒

〈教育目標や現在の生徒の実態・社会の情勢などから具体化した目標達成のための生徒像〉

- ★ア 学ぶことの意義や楽しさを知り、確かな知識や技能を身につけた生徒
- ★イ 共に高め合いながら学習や活動に取り組む生徒
- ★ウ 夢や希望をもち、目標に向かって努力する生徒
- ★エ 困難やつらいことに負けないたくましさをもつ生徒
- ★オ 所属集団や郷土に自信と誇りをもつ生徒
- ★カ 自分の考えや気持ちを、豊かに表現できる生徒
- ★キ きちんと人の話を聴ける生徒
- ★ク 他を思いやる心や奉仕の心をもつ生徒
- ★ケ 自らを律し、公正な判断のもとと行動できる生徒
- ★コ 健康な生活を自ら実践する生徒



与板中 8つのチャレンジ

愛・いきいき与板中！～夢・挑戦・感動・自信～

知の側面から

心の側面から

体の側面から

I 生徒が「分かった・できた」と思える授業となるよう工夫をします。

- ①一人一人の生徒が興味・関心をもって活動できるように工夫をします。
- ②グループ活動を多く取り入れ、他とかわりながら知識や技能を高める活動を工夫をします。
- ③様々な資料や他の人の考えを読み取ったり、自分の考えを適切に表現したりするなど、考えを深める活動を工夫をします。

研究推進部【★ア・イ・カ・キ】

- ◆「分かった・できた」と答える生徒が85%以上 (年2回の授業アンケート)

II 家庭学習の定着・習慣化を支援します。

- ①「学びの基本」等を活用し、日常の家庭学習について指導します。
- ②毎日の学習時間と内容を生活ノートで確認します。
- ③年4回、学習時間調査を行います。

学年部・学習指導部【★ア・ウ・エ】

- ◆年4回の学習時間調査で
 - ・毎日家庭学習をした生徒が70%以上
 - ・家庭学習の平均時間が1日60分以上の生徒が70%

III 基礎学力定着のために「やったできたプロジェクト」を行います。

- ①基礎テストを年間4回ずつ実施し教科部と学年部が連携して事前学習を徹底します。(漢字・英単語)
- ②県学力向上テストを活用し基礎学力定着を目指します。(国語・数学・英語のうち数学を「やったできたプロジェクト」として取り組みます)

学習指導部【★ア・イ・ウ・オ】

- ◆基礎テストの合格率が80%以上(合格80点)
- ◆県学力向上テスト数学の合格率80%以上(合格60点)

- (1)総合学習を工夫し、自ら学び自ら考える力や自らの思いを表現する力を育成します。
総合担当【★ウ・エ・カ】
- (2)各種コンクール・各種検定資格獲得に生徒が主体的に挑戦できるようにします。
教科部【★ア・ウ】

IV 良好な人間関係を築くための与板中独自の取組(R・I・P)を行います。

- ①年7回、全校縦割り班で行います。
- ②「聴く力」「伝える力」に視点をあてたエクササイズを行います。
- ③仲間と関わる力を高めるための体験的な取組を実施します。

あたたかい人間関係づくり部【★イ・カ・キ・ク】

- ◆ソーシャルスキル尺度調査で「仲間と関わる力」のポイントの全校平均が上昇。(5月と12月の比較)

V 諸活動を通して、支え合い認め合う集団を目指すとともに、達成感や成就感を味わえるようにします。

- ①学級・学年では一人一役を担い、所属集団に貢献する活動を行います。
- ②委員会活動では目的意識を明確にし、生徒が主体となった活動を行います。
- ③運動会・文化祭では活動のねらいを明確にし、学習の成果を発表します。また、生徒会と連携し、感動的な全校行事を創造します。

学年部・生徒会・体育部・行事部【★イ・ウ・オ・ク・ケ】

- ◆「Q-Uテスト」で「何かをしようとする時、協力してくれる友人がいる」「自分もクラスの活動に貢献していると思う」の2項目に肯定的な解答をする生徒の全校平均が80%以上。

VI 与中からいじめを根絶する活動を行います。

- ①生徒会が主体となった「いじめについて考える集会」を実施します。
- ②生徒会各委員会が、安心して生活できる学校を目指した取組を行います。
- ③心を耕す道徳の授業や講演会を実施します。

生徒指導部・生徒会・道徳部【★イ・エ・オ・カ・キ・ク】

- ◆いじめに関するアンケートの現象面(仲間はずれ・無視・悪口など)で「ない」「あったが今はない」が100%。
- ◆いじめに関するアンケートの意識面で、生徒の意識が向上。(6月と11月の比較)

VII 望ましい生活習慣を身に付けるため「健康週間」を、年3回実施し、生活習慣の見直しを行います。

- ①睡眠・メディアコントロール
- ②食の教育
- ③歯の健康

保健指導部・生徒会・学年部【★コ・ケ】

- ◆自分の生活習慣を改善できたところを答える生徒が80%以上。

VIII 伝統のマラソン大会や、朝のランニングタイム、部活動などを通して、持久力向上に取り組めます。

体育部【★イ・エ・コ・オ】

- ◆5月と10月の持久走のタイムを比較し、1年生は80%以上、2年生は70%以上、3年生は40%以上が上昇する。

- (1)心身の健康に関して、学ぶ機会をつくります
 - ①薬物乱用防止教育
 - ②生教育(性教育)
 - ③ストレス対処
 - ④運動のすすめ

保健指導部【★ア・コ・ケ】

- (2)礼節・行動面で「市内ナンバーワン」を誇れる部活動にします。

部活動指導部【ウ・エ・オ・キ】

◆は8つのチャレンジの目標値です。

- (1)全校縦割り班での無言清掃・自問清掃を行う中で自分の心と向き合い、自己の行為を律する意志力を育てるとともに、校舎の美化に努めます。

清掃指導部【★ア・キ】

- (2)本を読む習慣を身に付けることによって、落ち着いた1日のスタートが切れるようにすると同時に、豊かな感性や情操を育てます。

図書館教育部・学年部【★キ】

- (3)黙想の意識を高めること、話を聴く習慣を身に付けることによって、落ち着いた環境の中で終学活を行います。

生徒指導部・学年部【★イ・エ・オ・ク・ケ】

総合評価	①「楽しく学校生活を送っている」と答える生徒が90%以上 ②「やりがいを持って取り組んでいる活動が1つ以上ある」と答える生徒が90%以上
教育活動の基盤となるものについての評価	①「自分を温かく見守ってくれる、または支援してくれる先生が1人以上いる」と答える生徒が80%以上 ②「自分を温かく見守ってくれる、または支援してくれる家族や大人が1人以上いる」と答える生徒が95%以上 ③「与板中の教育活動を理解し、活動に関わったり、参加・協力した」と答える保護者が70%以上

教職員は、生徒一人一人を温かく丁寧に見取り(正対し)、Plan Do Check Actionサイクルによる確実な支援を行います。

保護者の皆様は生徒一人一人の支援者であり、学校全体の教育活動への協力者やアドバイザーです。学校やPTAが企画・実践するものに次のようにかかわります。

- ・学校の各種行事・活動への参加・支援。
- ・各学年委員会・専門部会の活動に参加・支援。